

# 有害プランクトン情報 (平成 30 年度 - No. 7)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月 1 回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	10 月 第 1 回	内湾 (8 地点)	10/3	内房 (7 地点)	10/3
		10 月 第 2 回	内湾 (8 地点)	10/15	内房 (7 地点)	10/16
	貝類漁場内	—				

## 【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上) は確認されませんでした。  
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL を超えた場合に注意報を発出します。

## 【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高密度はディノフィシス アキュミナータが 10/15 に千葉灯標で 4.60 細胞/mL でした。なお同種は 5/22 に羽田沖で 19.35 細胞/mL まで増加しましたが、被害情報はありませんでした。他種はディノフィシス カウダータが 10/15 に羽田沖で 0.35 細胞/mL, ディノフィシス ロツンダータが同日に同所で 0.45 細胞/mL でした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

## ○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

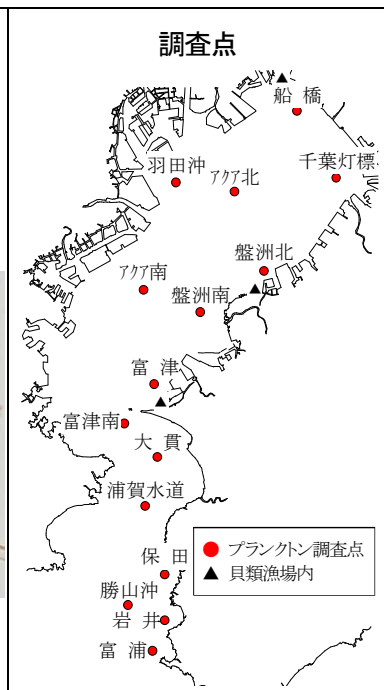
10/3	内湾	珪藻	キートセロス属 (図 1), スケルトネマ属
	内房	珪藻	キートセロス属, タラシオシラ属
10/15	内湾	珪藻	キートセロス属, シュードニッチア属 (図 2)
10/16	内房	珪藻	キートセロス属



図 1 キートセロス属  
(10/3 千葉灯標)



図 2 シュードニッチア属  
(10/15 船橋)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp